

教室名：港っ子放課後子ども教室

連絡先：延岡市教育委員会 社会教育課
 電話：0982-22-7032
 FAX：0982-33-6874

1 実施状況

主な活動場所	港小学校多目的室	対象学校	延岡市立港小学校
開設時間・年回数等	毎週 月～金曜 年(185回) 午後 14時40分～17時 〔冬期～16時30分〕	対象学年 平均参加人数	1～6年生 16人
○コーディネーター(1)人 ○安全管理員(11)人 ○学習アドバイザー(0)人			

2 年間の取組

月	主な活動	活動内容等
4	・教室開始(10日) ・新一年生教室開始(16日)	
5	・習字教室(毎月) 水曜日 ・昔遊び	・習字の指導の出来る安全管理員による見守り ・けん玉、おじゃみ、めんこ
6	・紙芝居づくり・発表	・絵本を選び、3班で製作。安全管理員、先生方の前で発表！紙芝居枠は安全管理員の手作り
7	・七夕飾りづくり ・宇宙を旅した朝顔の栽培	・安全管理員が準備した笹竹に願い事を書いた短冊を飾った。
8	・避難場所確認	・地図で自分の家、避難場所を確認し色をぬった。
9	・避難看板作り	・登下校時の避難場所確認と看板作り ・避難場所間の距離を計測・避難看板色ぬり
10	・習字教室	・20枚の避難看板に文字、絵を写し、色ぬり
11		
12	・年賀状作り ・おかしの家作り	・安全管理員には内緒で年賀状を作成し投函。 ・ダンボール紙で家を作り中にお菓子を入れた。
1	・皿回し・お正月遊び	・けん玉・おじゃみ・皿まわしを名人(安全管理員)に教えてもらい楽しむ
2	・看板設置・訓練	・下校しながら避難場所に実際に登り確認し看板設置した。
3	・防災教室 ・レクレーション ・6年生を送る会	・防災の講話を子どもたち、地区の人、先生、安全管理員で聞く。

3 特色のある取組の紹介

① 「地域の豊かな自然の中で楽しく活動！」



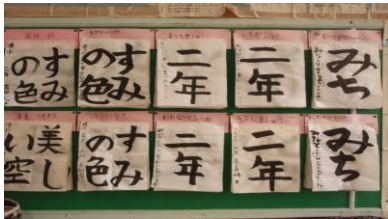
【ここがイチオシ・教室自慢！】

- ・ 独自に地震、津波の際の避難看板作りを企画し、計画・準備、作成、設置した。看板作りを通して、学校、地域との連携を図り、地域ぐるみの取組へと広がっている。
- ・ 子どもたちが安全、安心に楽しく過ごせる居場所づくりのために「放課後子ども教室」「学校」「家庭」「地域」との相互の交流が拡大！

○ 活動内容

- ・ 学校終了後、受付にて名前を伝え元気に挨拶して教室に参加する。
- ・ 30分間の学習後、好きな遊びをする。(サッカー・バスケット・外遊び)
- ・ 月一回水曜日は習字教室をする。
- ・ 体験活動がある。(紙芝居づくり、看板作り、皿回し、防災教室)

【皿回し】



【習字】

(安全管理員の活動)

- ・ 月一回、安全管理員、コーディネーター、学校、行政とで校区内会議を実施し、月の反省、翌月活動の話し合いを行っている。
- ・ 学校で実施する避難訓練に参加し研修している。
- ・ 安全管理員で集まる交流の機会をもっている。
- ・ 放課後子ども教室だけでなく、登校時の支援、学校の環境美化の支援等を行っている。



【避難看板作り】



【避難場所確認】

○ 事業を実施して（参加者等の声）

- ・ 放課後を見守ってもらえて助かる(保護者の声)
- ・ 習字教室があるのでありがたい。字がきれいになっている。(保護者の声)
- ・ 子どもと一緒に遊べて楽しい。(安全管理員の声)
- ・ 地域で会った時にあいさつや話をしてくれて嬉しい。(安全管理員の声)
- ・ 教室の時間に保護者が参加してくれる日があり心強い。(安全管理員の声)
- ・ 保護者会で保護者からの感謝の声を聞き、見守りを続けようと思った(安全管理員の声)
- ・ 安全管理員さん方が子どものために体験活動を工夫し放課後教室の内容が楽しくなった。(コーディネーターの声)

4 次年度へ向けて

- 「安全管理員」「保護者」との話し合いの場を持ち、よりよい放課後子ども教室のあり方を検討し、安全、安心に過ごせる居場所づくりを目指す。
- 避難看板設置で終わりではなく、今後避難看板を生かした避難訓練を取り入れたい。防災の知識が高まってきたので今後も学校とのスムーズな連携を取り、対応していきたい。